

ぜいりし
税理士による
租税教室



日本税理士会連合会

稅 理 士

第 1 条 税理士の使命

税理士は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそつて、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命とする。

第2条 税理士の業務

- 一 税務代理
- 二 税務書類の作成
- 三 税務相談

※この三つの業務が税理士の独占業務です。

有償無償問わず税理士以外の方がやっては
いけません。

I. **税**の意義・役割

II. 財政の現状と
今後の課題

III. **税**から考える
社会の仕組み

I . 税の意義 ・ 役割

- 税はなぜ必要なのか？
- 税は誰のためのもの？

税はなぜ必要なのか？

税は誰のために？





私たちの健康や生活のために



教育や科学技術の発展のために



海外援助のために



災害復旧などのために



住民の安全・安心を守るために



公園や道路などの整備のために



快適なくらしのために



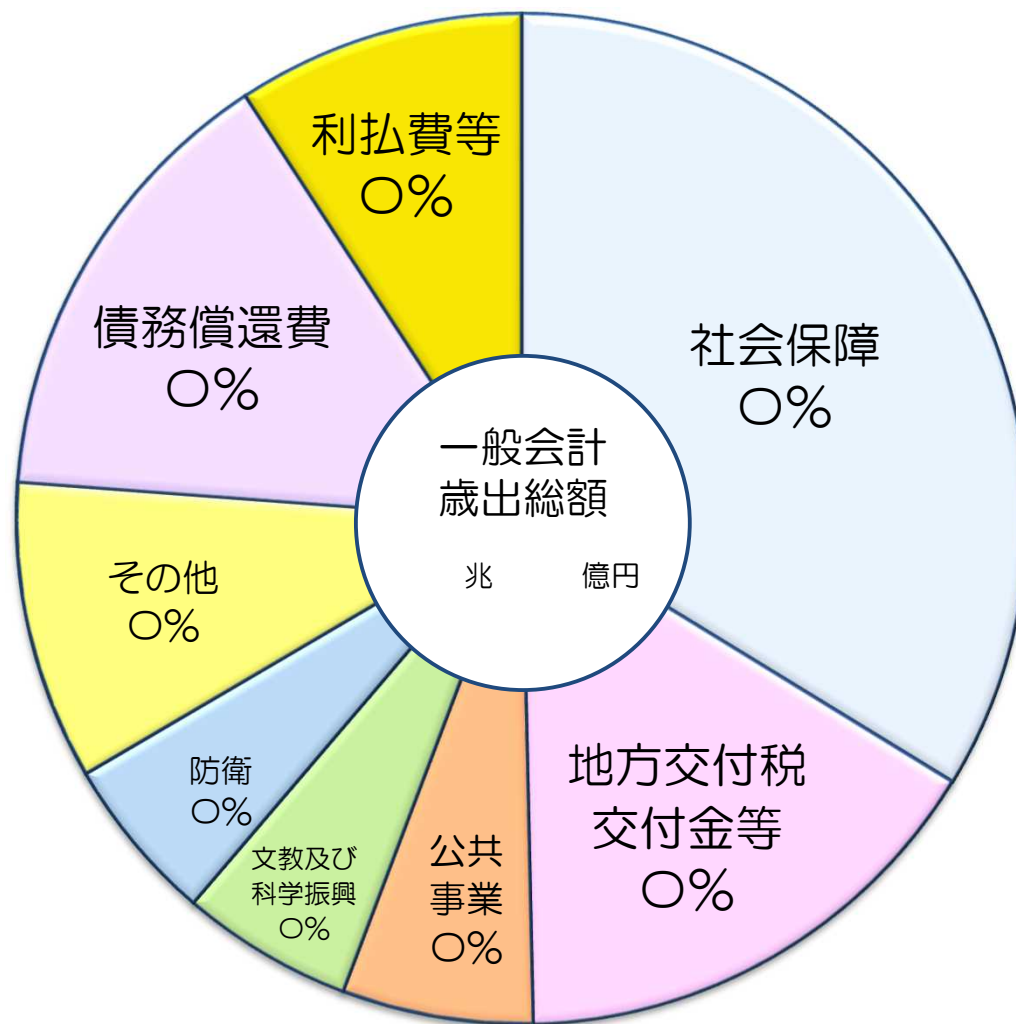
出火・災害から守るために



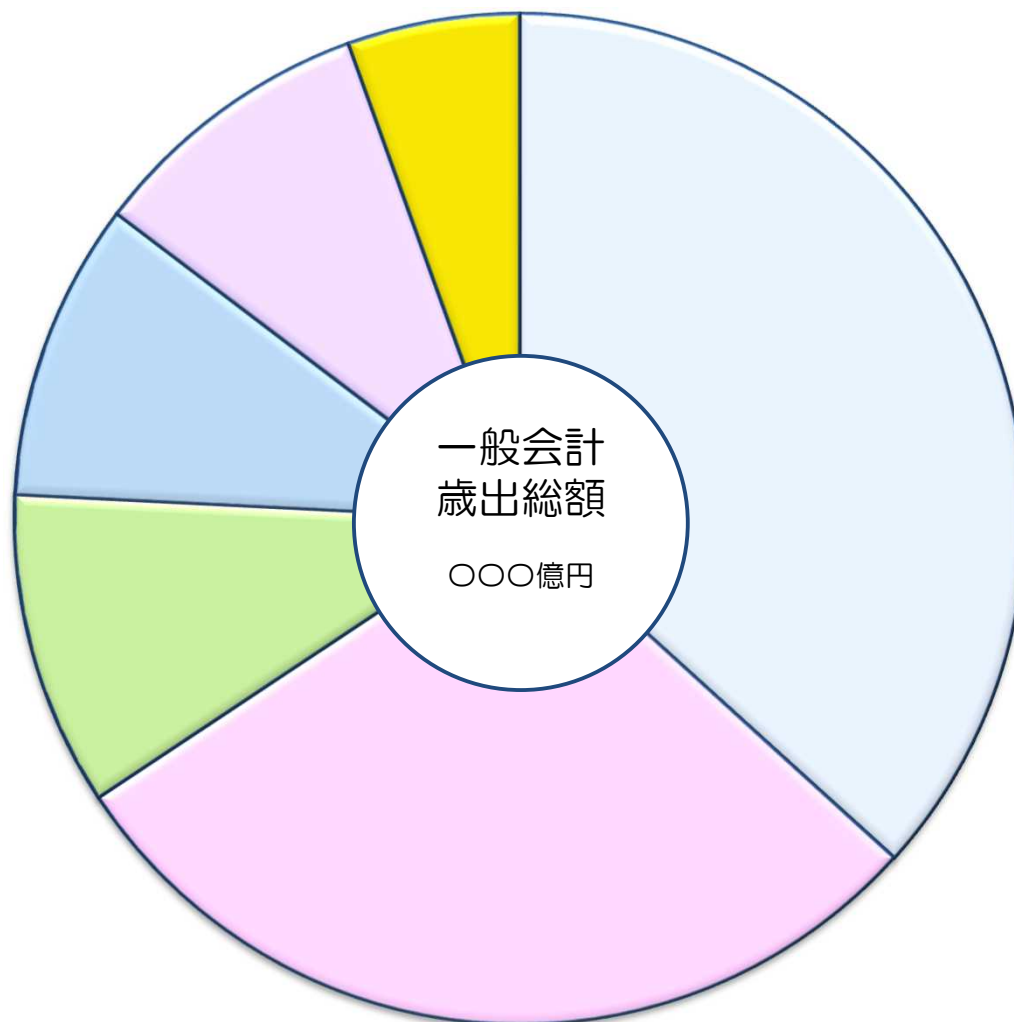
- 豊かな生活のために
- 健康に生きるために
- 文化的に暮らせるように
- 安心して暮らせるように

国民みんなのため

国の歳出 (〇年度一般会計予算)



〇〇の歳出 (〇年度一般会計予算)



公立学校の児童生徒1人あたりの 年間公費負担教育費（全国平均）

- 小学生 約1,000,000円
- 中学生 約1,100,000円
- 高校生 約1,100,000円

税の役割・機能

財源の調達

所得の再分配

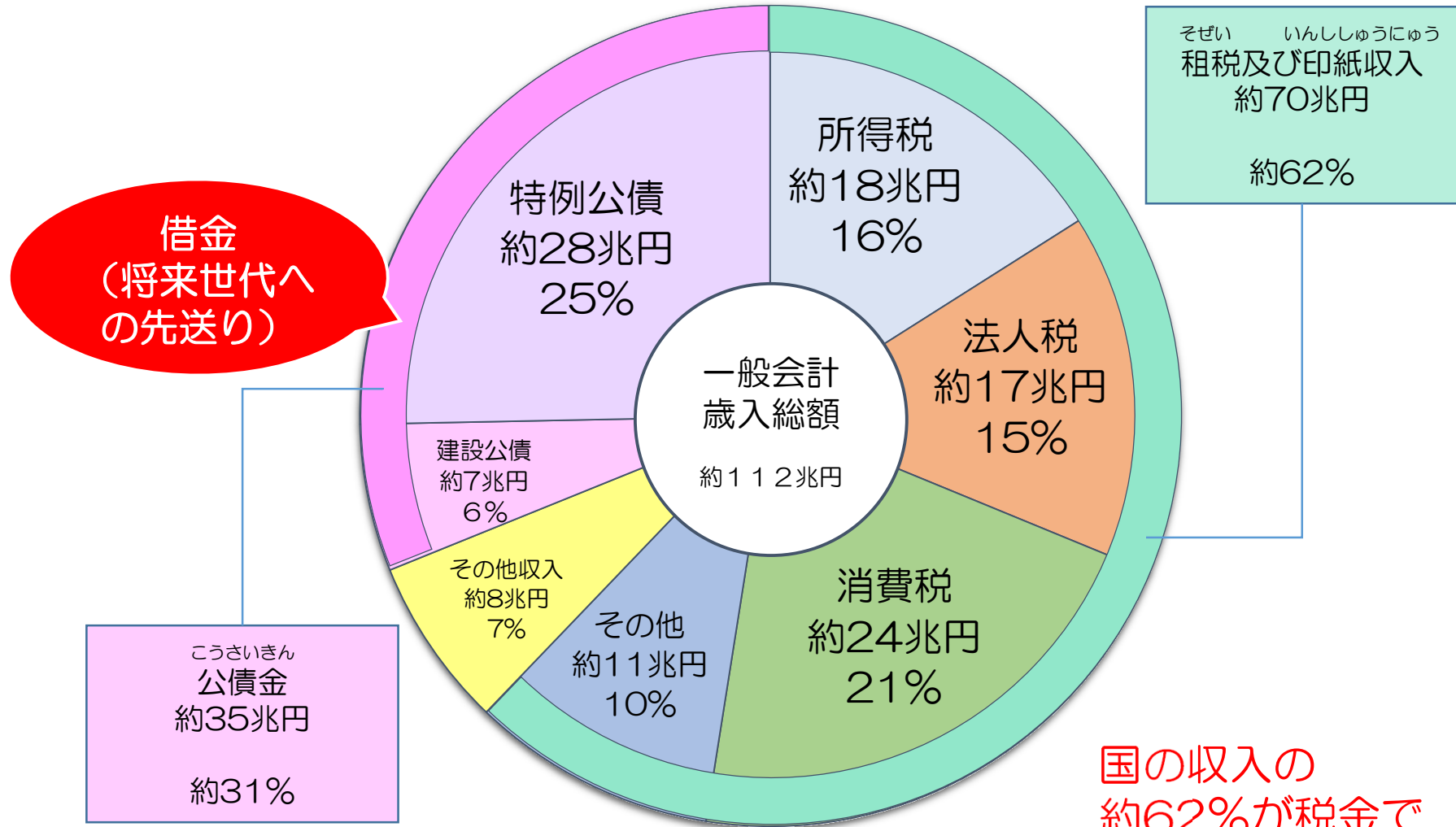
景気調整

II. 財政の現状と

今後の課題

国の歳入

(令和6年度一般会計当初予算)



借金
(将来世代への先送り)

こうさいきん
公債金
約35兆円
約31%

そぜい いんししゅうにゆう
租税及び印紙収入
約70兆円
約62%

国の収入の
約62%が税金で
成り立っています

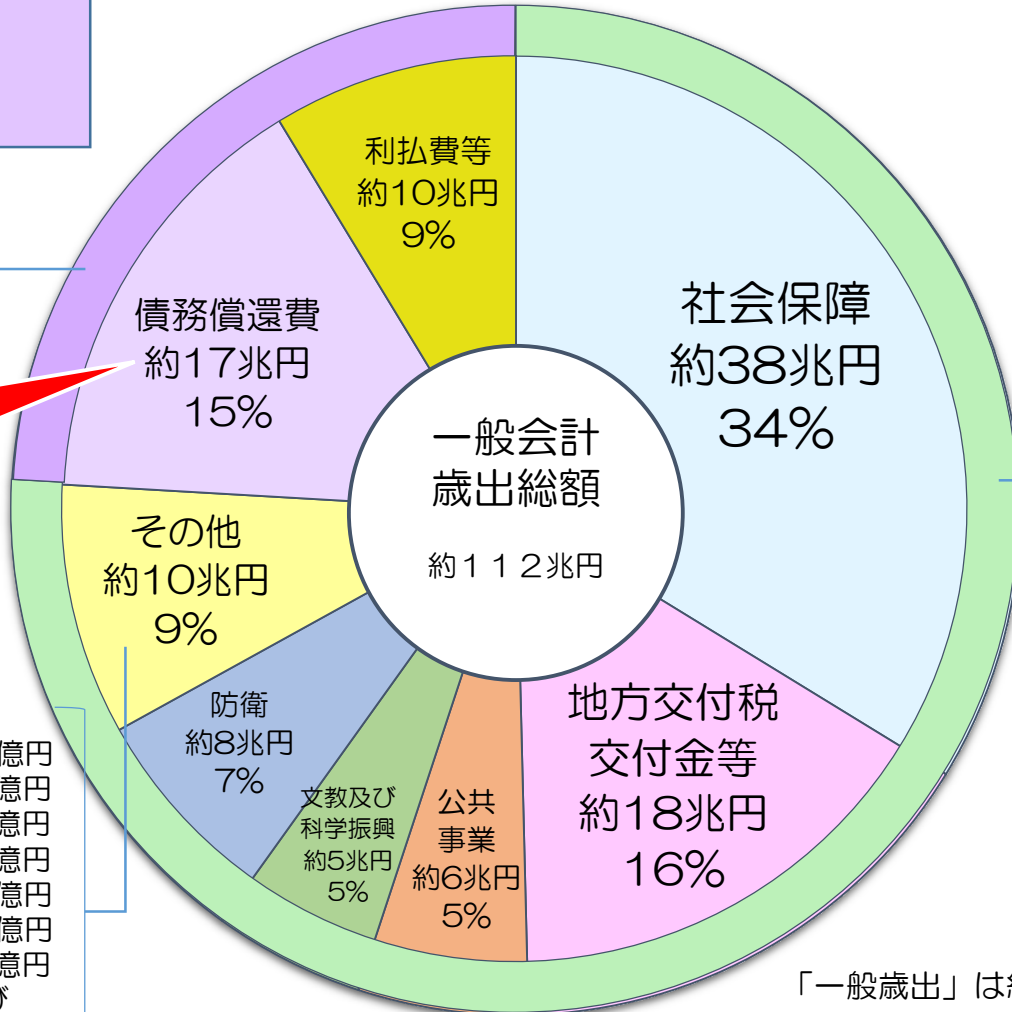
※ 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

国の歳出

(令和6年度一般会計当初予算)

こくさいひ
国債費
約27兆円
約24%

過去の
借金返済



きそてき ざいせいしゅうし
基礎的財政収支
対象経費
約85兆円
約76%

- 食料安定供給 約1兆2,600億円
- エネルギー対策 約8,300億円
- 経済協力 約5,000億円
- 中小企業対策 約1,700億円
- 恩給 約800億円
- その他事項 約5兆7,000億円
- 予備費 5,000億円
- 原油価格・物価高騰対策及び
賃上げ促進環境整備対応予備費
約1兆円

「一般歳出」は約67兆円（約60%）
⇒「基礎的財政収支対象経費」－「地方交付税交付金等」

※ 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

Ⅲ. 税から考える 社会の仕組み

- 税の種類
- 課税の公平
- 民主主義の社会の仕組み

主な**税**の種類

国 税

地 方 税

国稅 & 地方稅

所得稅

酒 稅

法 人 稅

相 続 稅

消費税

たばこ税

住民税

自動車税

事業税

固定資産税

税金を集める

〔ゲーム〕

7000

A

2500

B

500

C

私たち

国会

税を通して民主主義を考える

税の使い道

税の集め方

みんなが出し合う

ルール（法律）

選挙

関心・意見

公平に集められているか？
有効に使われているか？

国民主権

申告納税制度

日本国憲法

平和主義

基本的人権の尊重

租税法主義

納税の義務

税は
公平に集め
有効に使う

- 主権者として税を考え、使い道に関心を持ち、責任を持とう。